

平成 23 年 8 月 30 日



SHINYEI 神栄テクノロジー株式会社

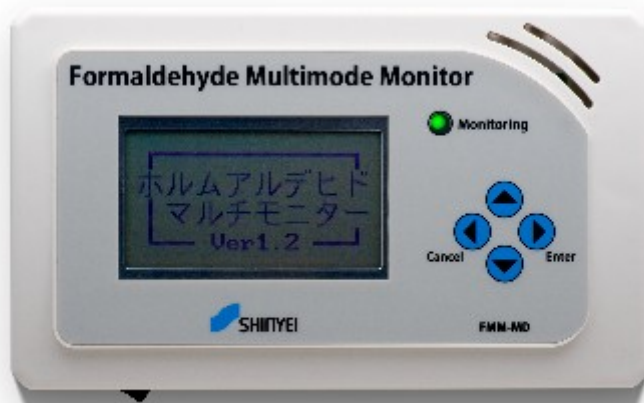
神戸市中央区京町 77 番地の 1
神栄ビル 5 階

取締役社長 野々尾 英喜

“新機能搭載”ホルムアルデヒドマルチモニター「FMM-MD」を発売

背景

当社は、防腐剤や塗料、家具や繊維製品など人々の身近なところで使用されている一方で、シックハウス症候群の原因物質であるだけでなく、発がん性を示す物質に分類されているホルムアルデヒドの濃度を測定する、従来品にない画期的な機能を加えたホルムアルデヒドマルチモニター「FMM-MD」を発売いたします。



本体サイズ* : 150 x 90 x 46.9mm

センササイズ* : 42.9 x 17 x 4.6mm

品 名 : ホルムアルデヒドマルチモニター「FMM-MD」

発売予定日 : 2011年9月1日

予定販売価格 : 110,000円(税別)

新開発製品「FMM-MD」の特徴

本製品は小型軽量の本体と脱着可能なセンサで構成されており、センサは単体でも測定ができるため、同時に多点での測定が可能となります。また、センサを本体に装着した状態で連続測定ができます。

これらは従来品にない画期的な機能であり、加えてコスト面での低価格実現にも寄与しています。

3つのモードで

「高精度」「簡便」「多彩」な測定を実現

1. 通常測定

本体にセンサを装着した状態で、30分測定や60分測定が可能です。

小型軽量の本体は、測定場所の移動にも便利です。

2. 多点測定 *新機能*

センサ単体での測定が可能のため、多点での同時測定を簡便に実現します。

本体でセンサの初期値を記憶し、センサ単体での測定後に回収して本体で濃度を判定します。(最大250件までメモリーが可能)

3. 連続測定 *新機能*

本体にセンサを装着した状態で、連続測定が可能です。

時間経過に伴うホルムアルデヒドの濃度変化、動態を連続測定することができます。

概要

ホルムアルデヒドは新築住宅や建材や家具に含まれるシックハウス症候群の原因物質の一つであり、また発ガン可能性物質でもあるため、その許容濃度はWHOの室内環境基準値では0.08ppm(30分平均値)に定められています。

国内では、建築基準法改正により新築(住宅・構造物)の建材からの発生低減によって測定需要は減少している一方で、現代の高気密住宅では不十分な換気や、入居直後に新調したカーテン、日用生活用品、リフォームの際のホルムアルデヒドの発生事例が増加傾向にあります。

日本同様に測定需要の増加が期待されることから、海外展開も図ってまいります。

本センサは、ホルムアルデヒドガスと接触するとルチジン誘導体が生成され黄色に着色します。ルチジン誘導体の濃度はホルムアルデヒドガスの濃度と暴露時間の積に比例するため、吸収波長の吸光度の変化を測定することでホルムアルデヒドの濃度が算出できます。このセンサはNTT環境エネルギー研究所が研究開発した方法に基づき製品化し、弊社の光学技術ノウハウを生かして製品化を実現しました。

また本製品は、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則」の規定に基づく、ホルムアルデヒドの測定器について平成23年8月8日厚生労働省告示第282号により、「厚生労働大臣が別に指定する測定器」として、新たに追加されました。

(初年度年間販売計画 500 台、売上 5500 万円)

ホルムアルデヒドマルチモニター「FMM-MD」

URL <http://www.shinyei.co.jp/stc/iaq/formaldehyde.html>)

東証・大証 1 部上場の神栄株式会社の全額出資子会社である神栄テクノロジー株式会社では、空気を測る“技術“のプロフェッショナルを目指し、これまでに湿度センサ・ホコリセンサ・ガスセンサ及び関連製品を開発・販売しており、更なるセンシング技術の向上を目指します。

<本件に関するお問い合わせ及び資料請求先>

神栄テクノロジー(株) 営業部 環境計測グループ (担当：小山文也、天野宏信)

TEL：078-392-6914

FAX：078-332-1619

e-mail：b-koyama@stc.shinyei.co.jp